

議案第70号

令和4年度

池田市公共下水道事業会計決算説明書

1. 公共下水道事業決算報告書（決算書P. 1～4）

（1）収益的収入及び支出（P. 1～2）

〔収入〕

下水道事業収益の予算額は、2,818,513,000円を計上しました。

下水道事業収益の決算額は、2,743,764,578円で、予算額に対し74,748,422円の減収となりました。

決算額の内訳は、次のとおりです。

営業収益	1,576,173,743円
（うち、仮受消費税	85,407,066円）
営業外収益	1,167,516,315円
（うち、仮受消費税	1,294,659円）
特別利益	74,520円

〔支出〕

下水道事業費用の予算額は、2,901,458,000円を計上しました。

下水道事業費用の決算額は、2,736,191,664円で、地方公営企業法第26条2項の規定による繰越額が18,260,000円で、予算額のうち147,006,336円が不用額となりました。

決算額の内訳は、次のとおりです。

営業費用	2,529,797,423円
（うち、仮払消費税	76,005,106円）
営業外費用	129,147,035円
（うち、仮払消費税	902,800円）
特別損失	77,247,206円

（2）資本的収入及び支出（P. 3～4）

〔収入〕

資本的収入の予算額は、2,451,553,000円を計上しました。

資本的収入の決算額は、1,979,174,725円で、予算額に対し472,378,275円の減収となりました。

決算額の内訳は、次のとおりです。

企業債	1,062,600,000 円
補助金	898,309,000 円
他会計出資金	16,986,708 円
他会計補助金	756,000 円
受益者負担金	400,752 円
分担金	122,265 円

[支 出]

資本的支出の予算額は、3,228,497,500 円を計上しました。

資本的支出の決算額は、2,736,472,445 円で、地方公営企業法第 26 条の規定による繰越額が 180,000,000 円で、予算額のうち 312,025,055 円が不用額となりました。

決算額の内訳は、次のとおりです。

建設改良費	2,055,307,476 円
（うち、仮払消費税	178,056,042 円）
企業債償還金	681,164,969 円

なお、消費税及び地方消費税は、仮受消費税 86,701,725 円（収益的収入）から、控除対象消費税等相当額 147,964,282 円（収益的支出仮払消費税 76,907,906 円及び資本的支出仮払消費税 178,056,042 円を加えた合計額から、控除対象外消費税相当額等 106,999,666 円を差し引いた額）及び貸し倒れ等に係る調整額 49,390 円を差し引いた 61,311,947 円の還付となりました。

2. 公共下水道事業損益計算書（決算書 P. 5～6）

当年度の公共下水道事業の経営実績は、次のとおりです。

1. 営業収益 1,490,766,677 円に対し
2. 営業費用 2,453,792,317 円で、差し引き営業損失は 963,025,640 円となりました。
3. これに営業外収益 1,104,959,099 円を加えた額から
4. 営業外費用 153,743,255 円を差し引いた額 11,809,796 円が、経常損失です。
5. これに特別利益 74,520 円を加えた額から
6. 特別損失 77,247,206 円を差し引いた額 88,982,482 円が当年度純損失です。前年度繰越利益剰余金は 715,850 円で、88,266,632 円が当年度未処理欠損金です。

3. 公共下水道事業剰余金計算書（決算書P. 7～8）

[資本金]

前年度末残高 5,412,625,588 円に、他会計出資金の受入 16,986,708 円及び減債積立金からの組入 75,000,000 円を加えた額 5,504,612,296 円が当年度末残高です。

[資本剰余金]

<受贈財産評価額>

前年度末残高 1,444,555,980 円から変動はありません。

<国庫補助金>

前年度末残高 267,697,946 円から変動はありません。

<府補助金>

前年度末残高 369,200 円から変動はありません。

<その他資本剰余金>

前年度末残高 138,191,087 円から変動はありません。

[利益剰余金]

<減債積立金>

前年度、利益剰余金処分額として積み立てた額 75,000,000 円から当年度取り崩した額 75,000,000 円を差し引き、当年度残高は 0 円です。

<未処分利益剰余金>

前年度未処分利益剰余金 75,715,850 円から減債積立金に積み立てた額 75,000,000 円を差し引いた額 715,850 円が繰越利益剰余金年度末残高で、当年度純損失 88,982,482 円を加えた額 88,266,632 円が、当年度未処理欠損金です。

4. 公共下水道事業欠損金処理計算書（決算書P. 9）

当年度未処理欠損金 88,266,632 円について、資本剰余金処分額として 88,266,632 円の欠損補填を行い、翌年度繰越欠損金を 0 円とするものです。

5. 公共下水道事業貸借対照表（決算書P. 10～11）

令和5年3月31日現在の公共下水道事業の資産、負債及び資本は、次のとおりです。

[資産の部]

1. 固定資産は、

(1) 有形固定資産合計 31,475,443,374 円

(2) 無形固定資産合計 1,357,676,444 円で

固定資産合計は、32,833,119,818 円（明細はP. 36～37に記載）です。

2. 流動資産は、

(1) 現金預金 2,882,548,685 円

(2) 未収金 293,512,151 円から貸倒引当金 3,508,610 円を差し引いた額 290,003,541 円

(3) 前払金 7,300,000 円で

流動資産合計は、3,179,852,226 円です。

以上の固定資産と流動資産の合計 36,012,972,044 円が、資産合計です。

[負債の部]

3. 固定負債は、

(1) 企業債 10,563,367,648 円

企業債の内訳は、

イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債 10,563,367,648 円（明細はP. 38～47に記載）

(2) 引当金 144,064,089 円

引当金の内訳は、

イ 退職給付引当金 144,064,089 円で

固定負債合計は、10,707,431,737 円です。

4. 流動負債は、

(1) 企業債 712,530,739 円

企業債の内訳は、

イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債 712,530,739 円（明細はP. 38～47に記載）

(2) 預り金 539,545 円

(3) 未払金 1,011,635,558 円

(4) 引当金 20,161,485 円

引当金の内訳は、

イ 賞与等引当金 20,161,485 円で

流動負債合計は、1,744,867,327 円です。

5. 繰延収益は、

(1) 長期前受金 31,961,579,126 円から収益化累計額 15,668,066,023 円を差し引いた
16,293,513,103 円が繰延収益合計です。

以上の固定負債と流動負債及び繰延収益の合計 28,745,812,167 円が、負債合計です。

[資本の部]

6. 資本金は、5,504,612,296 円です。

7. 剰余金のうち

(1) 資本剰余金は、

イ 受贈財産評価額 1,444,555,980 円

ロ 国庫補助金 267,697,946 円

ハ 府補助金 369,200 円

ニ その他資本剰余金 138,191,087 円で

資本剰余金合計は、1,850,814,213 円です。

(2) 欠損金は、

イ 当年度未処理欠損金 88,266,632 円で、欠損金合計は 88,266,632 円です。

剰余金合計の 1,762,547,581 円は、資本剰余金合計 1,850,814,213 円から欠損金合計
88,266,632 円を差し引いた額です。

資本合計 7,267,159,877 円は、資本金合計 5,504,612,296 円と剰余金合計
1,762,547,581 円との合計です。

負債資本合計の 36,012,972,044 円は、負債合計 28,745,812,167 円と資本合計
7,267,159,877 円との合計です。